

発行：ひたちなか市の環境を良くする会
会長 小川 和 昭
編集：広報委員会
監修：ひたちなか市環境政策課
TEL：029-273-0111（内3314）

環境から版

環境シンポジウム 2025

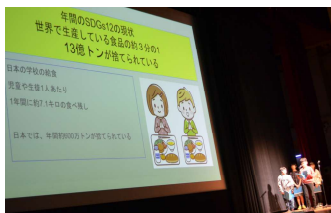


2月8日那珂湊しあわせプラザで、市主催による環境シンポジウム 2025が開催されました。

開会にあたり、大谷市長、秋本教育長の挨拶後、市内の小中義務教育学校、茨城高専及び日立製作所による、環境活動事例の紹介があり、最後に、県生物多様性センター長 山根さんから講評がありました。

●勝倉小学校 テーマ：「めざせ！ ゆたかな未来へ」

SDGs テーマ12の「つくる責任 つかう責任」について、食品ロス、ペットボトルのリサイクル、使用済みノートのリサイクルなどの調査を行い、使用済みノートのリサイクル「つなげるーぱ」について実践の発表。



●佐野小学校 テーマ：「未来の那珂川のために」

那珂川、早戸川の水質について、現地で透視度、CODの測定を行う。下流部の水質が悪化しており、生活排水などによるプランクトンの増殖が考えられ、河川を汚さないために、個人でできることを具体的に実践。給食の食べ残しを段ボールコンポストで堆肥を作り、花壇の肥料にして花を育てるなどの発表。

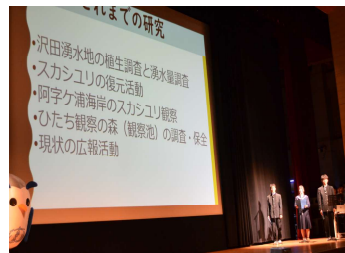


●那珂湊中学校 テーマ：「私達で那珂湊の“水”を守るために」 重要な水資源である那珂川の水質調査を行う。下流部での水質悪化の要因を推定。家庭からの生活排水に注目して、家庭でできる具体的な提案などの発表。



●美乃浜学園 テーマ：「地域に残る貴重な自然の保護活動 23年次」

スカシユリ研究班によるスカシユリの増殖に向けて大きく育てる工夫を行い、阿字ヶ浦海岸に植えて観察している。沢田湧水池の湧水の減少に対して、透水性アスファルトの提案など、沢田湧水池での環境保全活動の発表。



●茨城高専 テーマ：「ほしいも残渣堆肥の悪臭を抑制する生分解性材料の開発」

悪臭の分析により原因が酢酸であることが分かる。悪臭を抑えるのに、牡蠣殻が効果的であるので、牡蠣殻の粉末をコンニャクの主成分であるグルコマンナンと混ぜて作成したシートを開発し、干し芋加工残渣にシートを被せることにより悪臭が抑えられることの発表。



●日立製作所 水戸事業所 テーマ：「日立製作所水戸事業所の環境への取り組み」

水戸事業所内の森が生物多様性の価値を有して保全されており、環境省の30by30 自然共生サイトで認定を受けた。工場敷地内のサギ山と呼ばれる森には、猛禽類のハヤブサが生息しているのが確認されており、ウサギ、タヌキなども生息しており、豊かな自然の維持管理・生態系の保全が行われていることの発表。



総会案内

日時：4月19日(土)
10:00~12:00
場所：ふぁみりこらぼ
304研修室

アースデイ (4月22日) 誰もが地球環境のために何か行動を起こせる日！

アースデイは、1970年に「地球環境のために行動を起こす日」として、アメリカで始まり、その後、国内でも多くの自治体でイベントが開催され、茨城県では2023年に、EarthDay UBA! Hitachinaka 実行委員会により、ひたちなか市で初めて開催されました。

近年、地球環境の変化に伴い、気温の寒暖差が大きくなり、殆ど雨が降らなかったり、局地的に豪雨・豪雪などの異常気象が発生しています。これらを抑制するために、地球に住む全ての人が、何か具体的に行動を起こそう！という大切な日です。

令和6年度 環境保全啓発ポスターコンクール

市では、環境学習の一環として、市内の小・中学生が環境への関心を持ち、環境保全について、理解と認識を深めることを目的に、環境保全啓発ポスターコンクールを開催しました。

受賞作品を展示することにより、市民の環境保全意識の啓発と高揚を図るために、市のHPに掲載されています。本会のブログにも掲載しています。（4面参照）



掲載市 HP

ポスター募集テーマは、
・自然環境保全
・まちをきれいにする
・地球温暖化防止
本会では、応募作品の一次審査を行いました。

最優秀賞



堀口小1年
かない るい
金井 琉生 さん



田彦小6年
まちだ さえ
町田 沙英 さん

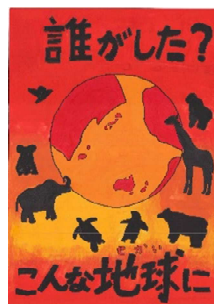


田彦中2年
みなた あやの
皆田 彩乃 さん

優秀賞



中根小3年
おおの ゆうと
大野 雄登 さん



長堀小5年
えびさわ そう
海老沢 蒼生 さん



那珂湊中2年
ふかさく つむぎ
深作 紬希 さん

佳作



外野小3年
かもした
鴨志田 ゆめ さん



長堀小4年
きのした ゆうき
木下 祐希 さん



田彦中2年
てらだ そうた
寺田 蒼汰 さん

わがまちの環境活動

「コマツ 茨城工場」

総務部安全・環境課 岡本

私たちコマツグループでは、2050年までにCO₂の排出を実質ゼロとするカーボンニュートラルを目指し、ものづくりや製品から排出するCO₂の削減や、循環型社会構築への取り組みによって持続可能な発展に貢献することを全社方針としています。

ひたちなか市に立地する茨城工場では、茨城県産木材由来の木材チップを利用したバイオマスガス発電や太陽光発電の活用等により、ものづくりに関わるCO₂の排出量を削減しています。

更に、物流のモーダルシフトの推進、国営ひたち海浜公園での生物多様性活動など、コマツ社内にとどまらない社会的な環境への貢献にも取り組んでいます。

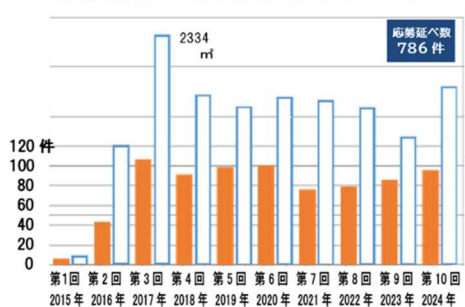


バイオマスガス発電の
発電システム

「緑のカーテンでエコチャレンジ」10年の歩み



図 応募件数 ■ と 総育成面積 □ の10年の歩み



緑のカーテン HP

<https://midorinokaaten.web.fc2.com>

きっかけと経緯

2010年、環境保全茨城県民会議が温暖化防止キャンペーンとして「いばらき緑のカーテンコンテスト」を企画し、多くの市町村が参加しました。

ひたちなか市でも、2015年から、本会の温暖化防止分科会が「省エネ」の一つの取組みとして第1回「緑のカーテンでエコチャレンジ」を会員に呼びかけ、7名が参加して始めました。

第2回は、市内全域に呼びかけると共に、8月末には、緑のカーテン作りに熱心な高野さん宅で「琉球アサガオの増やし方」講座を開きました。第3回は、応募者が増え、応募数は107件、総育成面積は2334m²になりました（左図）。

春は講座からスタート

緑のカーテン普及に向けて、5月に講座「省エネにもなる楽しい緑のカーテン」を開き、市民の皆さんと共に温暖化の現状を学習しながら、エコな資材を利用した「緑のカーテン」の育成法について説明しました。

秋は作品の写真パネル展示

緑のカーテン普及に伴い、応募された緑のカーテンの写真、植物名、育成面積、設置回数などをパネルにして、「消費生活展」などに展示しました。昨年12月に、県の環境政策課主催のパネル展示会（県庁にて）にも出展しました。



展示パネル例

10年間を振り返って

緑のカーテン普及活動に、延べ786件の応募がありました。

近年、応募件数が減少していましたが、第8回から佐和高校生、第9回から茨城高専生が加わり、若い人たちの環境に対する積極的な取組が見られました。

本講座で紹介した「エコチャレンジ」からは、省エネしながらゴーヤなどの収穫物が楽しめる他、①生ごみの削減（段ボールコンポストによる堆肥）、②間伐竹の利用（篠竹の支柱や竹炭・竹酢液）などにも繋がるメリットを感じました。

今後の活動

アンケートには、「緑のカーテンへの応募を続けることにより、生活の励みにもなる」など、本活動の継続を望む声も多くありました。

今後は、「エコ活」の一環として、やり方を工夫しながら活動を継続して行く予定です。

佐和高校JRC部

「緑のカーテン」作り

私たちは令和3年より、校舎の壁面を利用して緑のカーテンを作っています。これまで育てた植物は、ゴーヤ・琉球アサガオ・パッションフルーツ・プチキュウリ・ミニトマト・フウセンカズラなど多岐に渡っています。生徒や教職員から好評なのはやはりゴーヤです。今春には何を植えようかと今から楽しみに話合っています。

（顧問 野呂麻里子）



種まきは4月～6月が最適

多良崎城跡公園 篠竹刈り活動

多良崎城は、鎌倉時代末期か南北朝時代初期に築城され、城跡は、昭和48年に市史跡指定を受け、61年に茨城県緑地環境保全地域（風致地区の公園）に指定されました。

城跡公園には、篠竹や薦などが密生し、山野草などの生育に悪い影響が出ていることが指摘されています。本会は、2010年より市の教育委員会の許可を得て、史跡内の篠竹刈りや保全活動を行っています。

篠竹刈りは、公園内の烽火台手前から始まり、三の郭東部側面へと移り、最近では、中央付近（二の郭と三の郭の間）を行っています。

昨年12月22日、今年1月19日に、延べ11名の参加で、中央付近の東側と西側の篠竹刈り、倒木の整理を行いました。



倒木の整理作業

篠竹を刈取った所は、眺望が良くなりました。



篠竹刈り作業

5月には、貴重な山野草や樹木の保全を目的に、自然観察会を開催する予定です。



昨年の自然観察会に参加の皆さん

会のブログ紹介

本会の活動などをブログにテーマ毎に分類して掲載しています。

国内外からアクセスがあり、活動について、多くのコメントをいただいています。

左記のQRコード・URLからアクセスして、テーマを選んでください。

★環境を良くする会とは
会則、入会申込みフォーム

★予定
毎月の活動予定

★イベント
会の活動やイベントの様子

★役員会、各分科会
会議録

★段ボールコンポスト
説明資料

★緑のカーテン
緑のカーテンHPへのアクセス

★ポスターコンクール
各年度の受賞作品

★会報
環境かわら版



QRコード

URL : <https://ameblo.jp/hitachinaka-kankyou/>

ひたちなか市の環境を良くする会 事業所会員の紹介

廃棄物の中間処理施設 KATSUTA 株式会社 カツタ ひたちなか市高野1968-2 TEL (029) 270-3711代 http://www.eco-katsuta.com/	私たちは、 美しい地球を次の世代へ! のスローガンのもとに、一丸となって地球環境の継続的改善と環境汚染予防活動を推進しています。 (株)日立製作所水戸事業所	ひたちなか・東海 ハイトラスト株式会社 ひたちなか市新光町103-2 TEL (029) 265-5371	人と自然への思いやりを大切に 勝田環境 KATSUTA KANKYO	ガーデン・エクステリアのデザイン・施工 Maki planning http://www.mams-garden.com/ プロが選ぶガーデン雑貨の専門店 Mam's garden http://www.makipla.com/	社会福祉法人 新世会 いきい苑
Bio Power 木質バイオマス発電所 (株) バイオパワー勝田 ひたちなか市高野1974-1 TEL 029-270-3341	HiKOKI 工機ホールディングス(株)	リコーインダストリー(株) 勝田事業所 インクジェットヘッド ドットライブラリー ひたちなか市武田1060 www.industry.ricoh.co.jp	はなのお幼稚園 Hanano no O Kindergarten	KOMATSU コマツ 茨城工場 ひたちなか市長砂163-46 http://www.komatsu.co.jp/	マルハニチロシーフーズ株式会社 ひたちなか市和田町3丁目13400 番地2